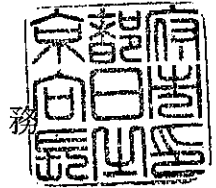




19向土第 660号
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

京都府向日市長 久嶋



中期計画に対する意見等について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあった標記の件について、次のとおり回答いたします。

記

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- (1) 通過交通の流入等による生活道路の交通渋滞や混雑解消を図るため、選択と集中による幹線道路の整備を促進していくとともに、将来を見据えた都市計画道路網の見直しを行いながら、体系的な道路ネットワークの形成を図る必要がある。
 - ・ JR向日町駅前市道寺戸森本幹線1号新設工事
 - ・ 都市計画道路網11路線全線の見直しと道路整備プログラムの策定
- (2) キリンビール京都工場跡地の大規模開発に伴う周辺交通環境対策として、環境負荷の低減に努めるとともに、遅れている道路等の都市基盤整備を促進し既存中心市街地の活性化につなげていくことが重要と考えている。
 - ・ 市道寺戸幹線1号道路改良工事
 - ・ 府道向日町停車場線道路改良工事

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- (1) 駅周辺の既設道路を活用して歩道を拡幅し、誰もが安全・快適に移動できるようバリアフリー歩道空間の形成に努めていくことが重要である。
 - ・ 阪急東向日駅前市道第2087号線道路拡幅工事
- (2) 公共交通機関のバリアフリー化と周辺整備による交通結節機能の強化を図ることにより、交通需要の公共交通機関への誘導を促進する必要がある。
 - ・ JR向日町駅東口駅前広場等整備工事

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

- (1) 向日市バリアフリー基本構想に基づき市内の歩道等の整備を計画的に実施し、高齢者や障害のある人にとっても安心して快適に過ごせる生活者視点の道づくりを推進していく考えである。
- (2) 本市のシンボルとなる道路整備に当たっては、一定の植樹帯を設け道路緑化を推進するとともに、道路が良好な都市景観の形成や防災機能の向上に果たす役割を十分踏まえていく必要がある。